

土木コンサル用技術士等調書

別表 1

商号又は名称

業者コード

--	--	--	--	--	--	--	--

希望業務内容及び技術士等の内訳調書

(1) 希望業務内容、建設コンサルタント登録規程への登録状況及び実績業務

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
	河川・砂防	港湾・空港	電力土木	道路	鉄道	上水道	下水道	農業土木	森林土木	水産土木	廃棄物	造園	都市計画	地質	土質・基礎	鋼構造コン	トンネル	施工計画	建設環境	機械	電気電子
希望業種に「○」 ※注 1																					
登録部門に「◎」 ※注 2																					
実績業種に「○」 ※注 3																					

※注 1：希望する業種で技術者等がいる場合、該当する人数を（2）へ必ず記入してください。

※注 2：国土交通省の建設コンサルタント登録規程第 2 条の規定による登録部門に「◎」印をしてください。

※注 3：直前 5 年の事業年度において実績がある場合は「○」印をしてください。なお、直前 1～2 年に実績がある場合は別途提出の「測量等実績調書」に付箋をつけ、直前 3～5 年に実績がある場合は「測量等実績調書」を追加で作成して提出してください。

(2) 技術者等の内訳（延べ人数）

※常勤職員のみ対象となります。

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
	河川・砂防	港湾・空港	電力土木	道路	鉄道	上水道	下水道	農業土木	森林土木	水産土木	廃棄物	造園	都市計画	地質	土質・基礎	鋼構造コン	トンネル	施工計画	建設環境	機械	電気電子
1. 技術士																					
2. 技術士補																					
3. R C C M																					
4. 実務経験者 ※注 4																					

※注 4：別表 3 により提出された実務経験者の人数を記入してください。

希望業種に技術者等を有している場合は、漏れのないよう記入してください。

(3) コンクリート診断士 所属人数 人

(4) (一社)日本鉄道施設協会認定の工事管理者（在来線） 保有人数 人

土木コンサル用技術士等調書

別表 2

商号又は名称

業者コード

--	--	--	--	--	--	--	--

技術士等の技術者名簿

氏名	生年月日	最終学歴		登録免許等				入社年月	実務経験年数
	(年齢)	学校名	専攻学科	名称	選択科目	登録年月	登録番号		
1								年 月	年
2								年 月	年
3								年 月	年
4								年 月	年
5								年 月	年
6								年 月	年
7								年 月	年
8								年 月	年
9								年 月	年
10								年 月	年
11								年 月	年
12								年 月	年
13								年 月	年
14								年 月	年

記載要領

1. 技術士・技術士補・RCCMに登録されている方のみ記載してください。
2. **登録証書及び雇用状況のわかる書類(健康保険証等の写し)**を必ず添付してください。
なお、技術者の方が後期高齢者医療制度に該当する場合は、雇用状況の分かる書類として、事業所名の記載がある直近3ヵ月分の出勤簿及び給与明細書等の写しを添付してください。
3. 添付書類については、原稿を縮小してまとめてコピーするなどして、極力枚数が少なくなるように努めてください。(技術士登録証を添付する際は、選択科目の名称も記入してください。)
4. 技術者名簿には、総合技術監理部門を含めて記入してください。
5. 記入欄が不足する場合は、この用紙をコピーして記入してください。

土木コンサル用技術士等調書

別表 3

商号又は名称

業者コード

--	--	--	--	--	--	--

実務経験経歴書

現住所							
氏名		生年月日	T・S・H	年	月	日(年齢)	歳
最終学歴	卒 (卒業年月)S・H・R					年	月
免許			主な業務の業種				

経 歴				
勤務先	役職名	実務経験の内容	実務経験期間	年月数
			年 月～ 年 月	年 月
			年 月～ 年 月	年 月
			年 月～ 年 月	年 月
			年 月～ 年 月	年 月
			年 月～ 年 月	年 月
			年 月～ 年 月	年 月
			年 月～ 年 月	年 月
			年 月～ 年 月	年 月
合計			満	年 月

上記のとおり相違ありません。

令和 年 月 日

氏 名

印

(証明者)

商号又は名称

代表者職氏名

印

記載要領

1. 土木関係建設コンサルタント業務に関し実務経験の年数が延べ18年以上ある方のみ提出してください。
2. 技術士・技術士補・RCCMの登録者(別表2に記載した人)は、提出の必要はありません。なお、登録部門等以外で実務経験のある場合は、提出してください。
3. 「免許」の欄には、業務に関し法律又は命令による免許又は技術若しくは技能の認定を受けたものを掲載してください。
4. 「主な実績の業種」の欄には、該当者の「実務経験の内容」の中から主な実績の業種(技術者として配置可能な業種)を1つだけ選んで記載してください。
5. 「実務経験の内容」の欄には、従事した主な土木関係建設コンサルタント業務の内容を一行に2件記載してください。
6. 「経歴」の欄には、勤務先、役職が変わるごとに行を改めてください。

土木コンサル用技術士等調書

別表 1

記載例

商号又は名称

(株)〇〇〇コンサルタント

業者コード

新規業者：記入しないこと。

希望業務内容及び技術士等の内訳調書

(1) 希望業務内容、建設コンサルタント登録規程への登録状況及び実績業務

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
	河川・砂防	港湾・空港	電力土木	道路	鉄道	上水道	下水道	農業土木	森林土木	水産土木	廃棄物	造園	都市計画	地質	土質・基礎	鋼構造コン	トンネル	施工計画	建設環境	機械	電気電子	
希望業種に「○」 ※注 1				○				○														
登録部門に「◎」 ※注 2				◎				◎														
実績業種に「○」 ※注 3				○				○														

※注 1：希望する業種で技術者等がいる場合、該当する人数を（2）へ必ず記入してください。

※注 2：国土交通省の建設コンサルタント登録規程第 2 条の規定による登録部門に「◎」印をしてください。

※注 3：直前 5 年の事業年度において実績がある場合は「○」印をしてください。なお、直前 1～2 年に実績がある場合は別途提出の「測量等実績調書」に付箋をつけ、直前 3～5 年に実績がある場合は「測量等実績調書」を追加で作成して提出してください。

(2) 技術者等の内訳（延べ人数）

※常勤職員のみ対象となります。

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
	河川・砂防	港湾・空港	電力土木	道路	鉄道	上水道	下水道	農業土木	森林土木	水産土木	廃棄物	造園	都市計画	地質	土質・基礎	鋼構造コン	トンネル	施工計画	建設環境	機械	電気電子	
1. 技術士				1				1														
2. 技術士補																						
3. R C C M				1																		
4. 実務経験者 ※注 4																						

※注 4：別表 3 により提出された実務経験者の人数を記入してください。

希望業種に技術者等を有している場合は、漏れのないよう記入してください。

(3) コンクリート診断士 所属人数 人

(4) (一社)日本鉄道施設協会認定の工事管理者（在来線） 保有人数 人

土木コンサル用技術士等調書

別表 2

記載例

商号又は名称

(株)〇〇〇コンサルタント

業者コード

新規業者：記入しないこと。

技術士等の技術者名簿

氏名	生年月日	最終学歴		登録免許等				入社年月	実務経験年数
	(年齢)	学校名	専攻学科	名称	選択科目	登録年月	登録番号		
1 山下 一郎	S36. 11. 1 (59歳)	〇〇大学	工学部 土木工学科	技術士	道路	S63. 11. 2	91111	S58年4月	36年
2 田中 二郎	S44. 7. 11 (51歳)	△△大学	工学部 土木工学科	〃	農業土木	H9. 2. 22	95369	H3年4月	28年
3 中村 三郎	S47. 9. 5 (48歳)	□□大学	工学部 土木工学科	R C C M	道路	H11. 5. 20	34567	H6年4月	25年
4								年 月	年
5								年 月	年
6								年 月	年
7								年 月	年
8								年 月	年
9								年 月	年
10								年 月	年
11								年 月	年
12								年 月	年
13								年 月	年
14								年 月	年

記載要領

1. 技術士・技術士補・R C C Mに登録されている方のみ記載してください。
2. **登録証書及び雇用状況のわかる書類(健康保険証等の写し)**を必ず添付してください。
なお、技術者の方が後期高齢者医療制度に該当する場合は、雇用状況の分かる書類として、事業所名の記載がある直近3ヵ月分の出勤簿及び給与明細書等の写しを添付してください。
3. 添付書類については、原稿を縮小してまとめてコピーするなどして、極力枚数が少なくなるように努めてください。(技術士登録証を添付する際は、選択科目の名称も記入してください。)
4. 技術者名簿には、総合技術監理部門を含めて記入してください。
5. 記入欄が不足する場合は、この用紙をコピーして記入してください。

土木コンサル用技術士等調書

別表 3

記載例

商号又は名称

(株)〇〇〇コンサルタント

業者コード

新規業者：記入しないこと。

実務経験経歴書

現住所	鹿児島市〇〇三丁目〇〇番〇〇号		
氏名	山田 太郎	生年月日	T・S・H 40 年 6 月 16 日(年齢) 54 歳
最終学歴	〇〇大学 工学部 土木工学科	卒	(卒業年月)S・H・R 53 年 3 月
免許	一級土木施工管理技士、測量士	主な業務の業種	

経 歴				
勤務先	役職名	実務経験の内容	実務経験期間	年月数
(有) △△測量設計		S53.10 〇〇線測量設計業務 助手	S53年 4月～ S60年 3月	7 年 月
(株) □□コンサルタント		S61. 7 □□線道路改良設計 担当	S60年 7月～ H 2年 3月	4 年 9 月
〃	係長	H3. 9 □□線道路改良設計 担当	H 2年 4月～ H 6年 3月	4 年 月
〃	課長	H7. 5 〇△橋実施設計 担当	H 6年 4月～ H12年 3月	6 年 月
〃	技術部長	H14. 5 △△河川改修測量設計 担当	H12年 4月～ 年 月	8 年 10 月
			年 月～ 年 月	年 月
			年 月～ 年 月	年 月
			年 月～ 年 月	年 月
			合計	満 30 年 7 月

上記のとおり相違ありません。

令和 3年 〇〇月 〇〇日

氏 名

山田 太郎

印

(証明者)

商号又は名称

(株)〇〇〇コンサルタント

代表者職氏名

代表取締役 〇〇 〇〇

印

記載要領

- 土木関係建設コンサルタント業務に関し実務経験の年数が延べ18年以上ある方のみ提出してください。
- 技術士・技術士補・RCCMの登録者(別表2に記載した人)は、提出の必要はありません。なお、登録部門等以外で実務経験のある場合は、提出してください。
- 「免許」の欄には、業務に関し法律又は命令による免許又は技術若しくは技能の認定を受けたものを掲載してください。
- 「主な実績の業種」の欄には、該当者の「実務経験の内容」の中から主な実績の業種(技術者として配置可能な業種)を1つだけ選んで記載してください。
- 「実務経験の内容」の欄には、従事した主な土木関係建設コンサルタント業務の内容を一行に2件記載してください。
- 「経歴」の欄には、勤務先、役職が変わるごとに行を改めてください。